

敬老 パス

日本一の
現行制度を

守ります

日本共産党

「事業仕分け」で「見直し」

どうなる？

70歳以上に？

名古屋市の敬老パスは65歳以上が対象です。他都市並みに70歳からになると利用できる人が大きく限定され、健康づくりや生きがい、社会参加などにも影響します。

東京や横浜みたいに2万円？

東京都は住民税非課税以外は20510円、横浜市は所得によっては20500円になります。交付を断念する人が増えます。

6000円分の利用券に？

浜松や広島は年間6000円の利用券を交付し、利用制限をしています。残り少なくなった利用券を見ながら出かけるのをガマンさせる非情な仕組みになってしまいます。

おかしいぞ
仕分け議論

「市負担が他都市と比べて高い」 日本一の制度だからです

ひとり37000円の市負担は高いといいますが、日本一のいい制度だから当然で、その効果も健康づくりや経済効果にいっぱい。

好循環型の政策

吉岡 弘晴（中村区）



財政難を口実に有料化されました
が、市民の運動で65歳支給は守って
きました。敬老パスの効用としては
① 65歳以上の市民に社会参加や文化的生活を保障
② 65歳以上の引きこもりをなくし健康維持になる
③ 病気が重くなる前に病院へ行け医療費縮減に
④ 閑散時のバス・地下鉄を有効活用し、町の賑わ
い、買い物や食事など経済効果を生む
⑤ 駐車違反や排ガスなど交通公害を減らす
⑥ 結果として市民の足を支える市営交通の財源に
など、市の予算の1.25%で大きな経済効果、文化的価
値を再生しています。税金が敬老パスとして還元さ
れ、まちの活気を生む好循環型の政策です。

「利用者が減っていて不公平」 有料化したからです

90%以上の交付率でしたが有料化で65%に。
地下鉄や市バスが不便な地域では5千円がもつ
たいないと辞退するのは当然です。

「金持ち減税」やめれば 見直す必要はありません

名古屋市の見込みでは10%減税に約220億円が必要。昨年度実施された減税では、1035万円を筆頭に納税者の約3%の人が25%（37億円）分の減税額をふところに。法人税は、全企業9

万社のうち上位10社で減税総額12億円。こんな金持ち・大企業優遇減税の財源づくりのために、敬老パスを改悪してしまっていいのでしょうか。

財源
220億円

「敬老パスは現行制度の継続を」の声を広げましょう

事業
仕分け

廃止 判定 に異議あり！

河村市長の「事業仕分け」は、減税財源を作るために「徹底した行革が必要」という視点から、必要性や意義は無視、利用者の声も聞かず、「経費削減」「効率化」の視点だけから議論され、6事業に「廃止」という判定が下されました。この「廃止」判定に対して、市民から怒りや憤りの声が上がっています。

女性会館（7100万円）

男女平等度が低い日本・名古屋
佐藤るみ子（新日本婦人の会・中支部）

廃止判定理由に「すでに男女は対等」というのがあったそうです。現実は、仕事で遅くなつてもご飯をつくるのは女性という家庭も多くあります。

サークルなどで学習・交流し、女性自身が問題を解決する力をつけていく——社会教育の場が女性会館です。男女平等度、国連のジェンダーギャップ指数は、134カ国中94位の日本、中でも保守的な名古屋でこの施設を廃止することは許せません。



野外学習センター（7800万円）

生徒の健全な育成に大きな効果
(名古屋市立高校教員)

オリエンテーション合宿では、野外炊事やレクリエーションを通しての仲間づくりをします。これは、高校生活全体を左右するかけがえのないもの。生徒も日々に有意義な2日間とふりかえります。部活動の合宿を他校と合同で行えるのもこの施設の利点です。代替施設は存在しません。経済的に厳しい家庭にも負担をかけず利用できる貴重な施設をこれからも守ってほしい。



野外学習センター

生活衛生センター（3900万円）

ファーブル号をなくさない！
(保育士)

市内は昆虫が少なくなり、子どもたちが見たり触ったりする機会が少なくなりました。こんな時代だからこそ保育園にとってファーブル号はなくてはならない存在です。ファーブル号がきっかけでカブトムシの幼虫に触ることができるようになった子どももいます。私たちは季節ごとにファーブル号に来てもらい、たくさんの虫に触れさせたいと思っています。ファーブル号の予約開始日は、なかなか予約が取れないのが現状です。ファーブル号をなくさないでください。



高年大学鯉城学園（1億4400万円）

卒業後も地域でボランティア
渡辺美津子（天白区）



私は高年大学の21期の卒業生です。3回目でようやく入学できましたが、学科によっては6回以上も待って入学する人もあるくらい人気の事業です。

学園では講義もさることながら、クラブ活動や体育祭、文化祭などを通じて自主活動の楽しさにのめり込む元会社人間や専業主婦の方も多い。卒業後は16区にOB会があり、天白区では公園・緑道などの清掃、特養ホームなどへの慰問、区民まつりなどのボランティアと、息長く活動しています。

「事業仕分け」こそ廃止を —日本共産党名古屋市議団が申し入れ—

「事業仕分け」について、市長の「判定結果を市政に生かす」発言など、判定結果の独り歩きが危惧されています。

日本共産党は直ちに「利用者を含む市民的な検討と合意抜きにした安易な結論の押しつけは許されない」として、募集した市民意見の速やかな公表と判定結果を特別扱いしないことを要求。「事業仕分け」は安易かつ粗雑な手法であり、廃止を求めました。



10月26日、金持ち減税の財源づくり
「仕分け」はやめよと申し入れる市議団

こんなムダをやめよ



日本共産党

- ・市議の海外視察（ひとり120万円）
- ・名古屋城天守閣木造再建（500億円）
- ・木曽川水系連絡導水路（890億円）
- ・名駅～ささしま 巨大地下通路
- ・中部国際空港2本目滑走路 など